

エボラの脅威：NY の空港スト、米 58%が西アフリカからの便の禁止を求める

RT (Russia Today)

October 09, 2014



ニューヨーク、ラガーディア国際空港の飛行機機内清掃クルーが、水曜日、エボラ・ウィルスに曝される危険があるとして、24 時間ストに入った。一方、世論調査によると、ほとんどのアメリカ人が、エボラ熱の荒れている地域からの飛行便の禁止を求めている。

ラガルディアへ到着する国内便で働く 200 名ほどの空港労務者は、水曜日夜刻からストライキを始めた。このグループは団結して、彼らの業務に関わる健康と安全の問題——血液、糞便、嘔吐物などに防護装備なしに曝されることなど——が主たる理由だと言っている。彼らは、水曜日に初めてアメリカで犠牲者の出た、エボラ・ウィルスに曝される危険を憂慮しているとも言った。

「国全体がエボラ問題でおののき不安になっています」CBS ニューヨークによると、32BJ 雇用者国際連盟の会長 Hector Figueroa は言った。「空港労務者は一般大衆を保護する最前線にいます。彼らを保護するためには、労務者たちを保護しなければならない。」



空港労働者たちが安全のない労働条件に抗議している

ラガルディアでは飛行機ごとの機内清掃担当者の割合が半分に減らされ、飛行機を清掃する時間がわずか 5 分に短縮された、という労働者の声を CBS ニューヨークは伝えている。

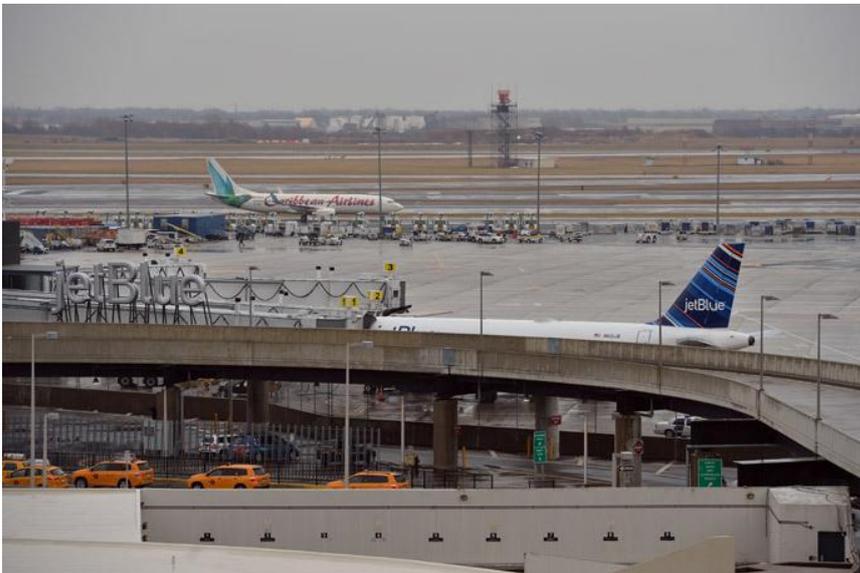
「こうした労働者は本質的に、彼らが毎日取り扱わねばならぬゴミのように扱われているのです」と Figueroa は言った。「彼らは装備も道具も与えられず、乗客と労働者のために空港を安全に保つのに必要な、適切なトレーニングも受けていないのです。」

エアサービスはコメントの要求に応えなかった。会社はストの間、代替の労務者を引き入れた、と CBS ニューヨークは報じた。

ある声明で、空港を運営しているニューヨークとニュージャージーの経営者は、単純に、自分たちに所属するすべての会社は、決められた法規を守らなければならないとだけ言った。

「労務者は我々空港経営者が雇用したものではない。彼らは航空会社の契約雇用者だ。しかし彼らを雇用する航空会社や他の会社は、すべての適用される OSHA 法規と、空港経営者との貸借上の条件を守らなければならない。我々の許可証はまた、空港でビジネスを行うすべての会社が、市と州と連邦のすべての法と規制に従うことを要求している。それに加えて、CDC (米疾病予防管理センター) は、飛行機や空港の諸施設で働く清掃要員のための、空港および航空会社のガイダンスを与えている。」

<http://rt.com/news/194256-global-ebola-outbreak-death-toll/>



ケネディ国際空港

土曜日からはじめて、ギニア、リベリア、シエラ・レオネなど西アフリカ諸国からの渡航者は、ニューヨークの JF ケネディ空港で止められ、エボラ熱の徴候の有無を調べられることになる。他の4つの大きなアメリカ国際空港——ニューアーク自由国際空港、シカゴ O'Hare 国際空港、アトランタのハーツフィールド - ジャクソン空港、それにワシントン DC のダレス国際空港もこれに従い、CDC と「米関税・国境警備局」による健康旅行者の選別を行う予定である。

新しい世論調査によれば、アメリカ人の大多数が、最近のエボラの発生が集中している、西アフリカ諸国からのフライトの禁止を求めている。

NBC ニュースと SurveyMonkey の合同世論調査によると、58%のアメリカ人が入国フライト禁止を支持し、20%がギニア、リベリア、シエラ・レオネのような所からの渡航禁止を支持していないことが分かった。

今週初めの時点で、WHO（世界保健機構）もホワイトハウスも、感染の多い国家からアメリカへの全面的渡航禁止を認めていない。



「旅行禁止は、いまのところ我々は考えていない」とホワイトハウス報道官 Josh Earnest は言った。

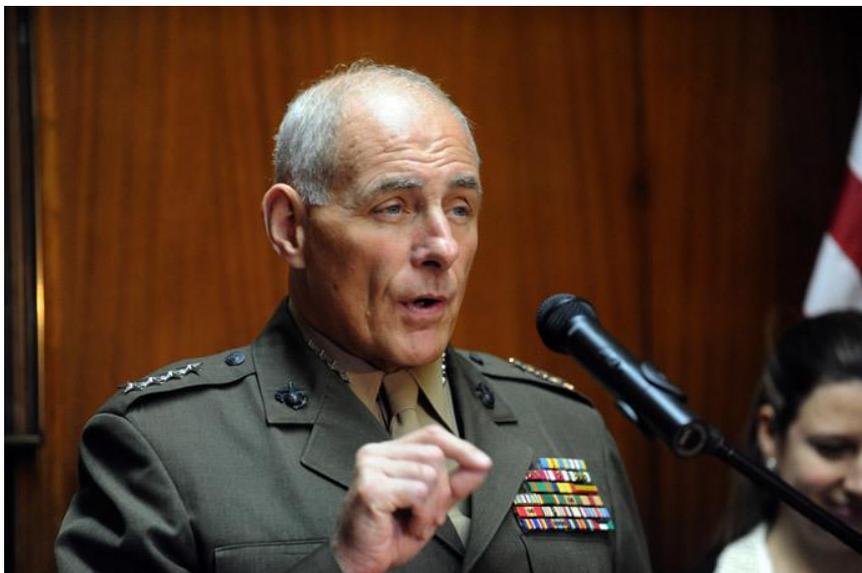
海兵隊司令長官 John F. Kelly は、今週、避けられないエボラ熱の恐怖を掻き立てるように、「エボラ熱を西アフリカに封じ込めておくことのできる方法はない」と言った。

彼は付け加えて、多くの西半球国家はエボラ発生に対処できるが、もしウィルスがホンジュラスとかエルサルバドルといった中米諸国に現れると、北を目指してアメリカに入ろうとする人々が増えると予想されると言った。

「もしそれが起こったら、文字通り “Katie bar the door”（どうしようもなくなる）になり、大量移民がアメリカへ入ってくるだろう」とケリーは言った。「彼らはエボラから逃げてく

る、あるいは自分がかかったと思ったら、治療を求めてアメリカに入ろうとするだろう。」

面白いことに、2対1の差で、NBC調査の回答者は、米軍部隊を海外のエボラの拡大と厳しさを食い止めるために派兵することには、反対している。



ペンタゴンは何千という部隊を、来週、西アフリカのその地帯の努力を助けるために、送り出す計画をしている。

NBCの調査はまた、回答者の51%がアメリカでの発生を恐れ、30%が自分や家族がエボラにかかるのではないかという懸念をもっている。

回答者の60%は、エボラがどのようにしてうつるかは、体液に触れることであることを正確に知っていた。

調査対象となった人々の66%は、CDCがアメリカでの発生を防いでくれると確信し、62%が、自分の地域の健康管理局が、州レベルでの発生について、同じことをしてくれるだろうと言った。

エボラの発生は、WHOによれば、西アフリカで3,000人をはるかに超える人々を殺している。しかしWHOは、それはこれまでの死亡数の控えめな見積もりだとも言っている。それ以上の更に数千の人々がウィルスに感染している、とこの機関は言っている。



特殊なエボラ土葬チームが、新しいエボラ患者の遺骸を埋葬するために運んでいる。2014年10月6日、Magbonkohにて)